



LUCKY

2016.2

第46期 報告書

平成27年3月1日から平成28年2月29日

LUCKY

北雄ラッキー株式会社

JASDAQ:2747

株主の皆様へ ごあいさつ

北雄ラッキー株式会社
代表取締役社長

桐生 宇優



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

01 当社は創業以来、一貫して地域のお客様に愛されるお店づくりをめざし、皆様の食卓をよりおいしく、より豊かに、より健康にという理念のもと今日まで歩んでまいりました。これはひとえにお客様をはじめとして、株主の皆様、お取引先様の暖かいご支援があったからに他なりません。改めて深く感謝申し上げます。

当社の昨年度の業績は、消費増税による落ち込みの反動などにより、結果としては増収増益でありましたが、一方では、社会情勢や経済情勢の不安、加速する少子高齢化による社会構造の変化など、今後の日本経済の予測は難しい状況であり、個人消費回復の見通しも不透明であります。

ただ、このような状況であっても、当社は外部変化をチャンスとして捉えてマーケット（相手）に対して、引き下がらないよう努力すること、具体的には、社会情勢や経済状況を相手にするのではなく、お客様を相手に、お客様の購買志向の変化を捉えて商売をすることが、お客様に支持される強いスーパーマーケットに繋がるものと認識しております。

また、個人消費は停滞しているものと判断するのではなく、

個人消費は作り出すものと考え、徹底したマーケティングを実行し、お客様の求める商品やサービスを作り、適切なターゲットに向けて発信することで、お客様が自然と買い求めたくなる状態の創出を目指します。

その第一歩目として、「商品力」及び「現場力」の強化を最重要方針と定め、北雄ラッキーのブランド価値及び企業価値の向上に努めてまいります。

当社の企業理念である「日本一質の高いスーパーマーケットをめざそう」の実現には、お客様、お取引先様、従業員、皆様の幸せの実現が必須であり、そのために、私たち一人一人が商売人としての意識を持ち、強い力を身に付けて、生き残るのではなく勝ち残ることを命題として取組んでまいります。

これからも時代や社会の変化にいち早く対応し、お客様のニーズにも的確にお応えできる企業を目指し、役職者一同が最大限の努力をしまる所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

店舗網

(平成28年2月末現在)

営業店舗合計 36店

食料品・衣料品共同店 22店

食料品単独店 5店

衣料品単独店 9店

ラッキーマート幌向店

栗山店

長沼店

手宮店・朝里店

岩内店

倶知安店

長都店

千歳錦町店

シティわかかない店

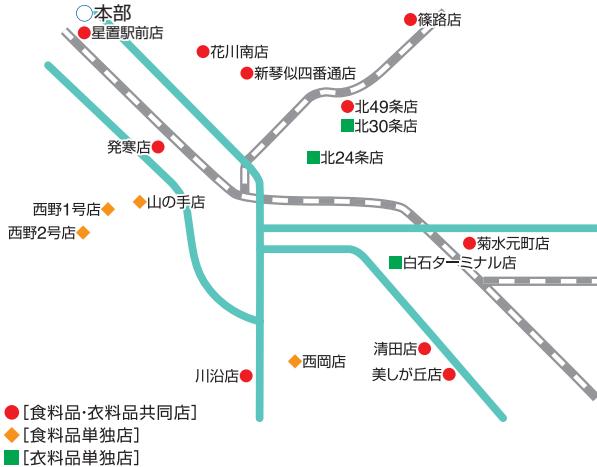
シティもんべつ店

シティえんがる店

シティびほろ店

シティあましり店

札幌市近郊店舗分布



- [食料品・衣料品共同店]
- ◆ [食料品単独店]
- [衣料品単独店]
- 本部 〒006-0851 札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号 ☎011-558-7000
- デリカセンター 北海道小樽市銭函3丁目193-1 ☎0134-62-1717
- シティデリカセンター 北海道網走市美幌町字青山北53-3 ☎0152-75-2060
- 生鮮センター 札幌市中央区北12条西19丁目36-168 ☎011-623-0570
- 低温センター 札幌市中央区北12条西19丁目36-168 ☎011-643-4511
- 物流センター 北海道石狩市新港西3丁目700 ☎0133-75-8877

昭和46年4月、食品の小売および卸売を目的として株式会社オレンジチェーンを設立。昭和49年5月、商号を株式会社山の手ストアと改めチェーン展開を開始し、更なる店舗規模の拡大と集客部門の充実強化を図るため、昭和57年5月に札幌市内を中心に衣料品のチェーン展開を行っていた株式会社まるせんと合併。商号も現在の北雄ラッキー株式会社に変更しました。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩市、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市・栗山町・長沼町と規模を拡大し、更に道東地区のドミナント化を図るため網走市、紋別市へ進出、平成17年10月には道北の稚内市、平成20年9月には後志地方の岩内町、平成23年11月には道南地区の函館市へと営業エリアを広げ、平成28年2月末現在、全道各地に36店舗を展開しております。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客様に感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一歩先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けていきます。



「ナチュラルラッキー& テイスティラッキー」ラッキーらしさの商品コンセプト

お客様にとって最大の関心事である「食」の「健康と安心」の面において、当社が自信を持っておすすめしているのが「ナチュラルラッキー」の商品コンセプトです。お客様の健康増進や病気予防に役立つよう、有機野菜、特別栽培野菜、無添加商品などを展開しております。また、もうひとつの商品コンセプトである「テイスティラッキー」は、「おいしさ」と「品質」で、家族が揃うお祝いの日やお誕生日などで、みんなに満足していただける商品です。

健康で安心な毎日の食生活のために
NATURAL LUCKY ナチュラルラッキー



美濃
有機純米酢
有機純りんご酢



新篠津産
特別栽培
玉ねぎ



長沼産山中ボーク

おいしいものをどどん食卓に。
TASTY LUCKY テイスティラッキー



小林コーヒーロイナルブレンド豆



マルマメ
みかん



ホテルブレッド

「こどもPOPコンテスト」開催

設立30周年記念企画として開催しました「こどもPOPコンテスト」をご好評に付き今年も実施いたしました。毎年、「ぜひ来年も実施してほしい」、「こどもが自分から参加したいと言ったのははじめて」、「すごく、すごくうれしい」など多くの共感と評価をいただいております。当社といたしましては、この事業を最終的な目的である「社会貢献」、「地域貢献」につながるよう、取組みの継続と積極的な広報活動に努めてまいります。



最優秀賞「王様のトマト」



優秀賞「マルマメかん」

全道チェッカー競技会に参加



チェッカー競技会の様子です。

平成27年7月23日(木)札幌パークホテルにて、道内スーパーマーケット7社のレジ担当者46名が接客技術を競う、第31回全道チェッカー競技会(北海道スーパーマーケット協会主催)が開催されました。

当社からは、新人の部に2名、先輩の部に5名が参加し、新人の部、先輩の部において、優秀賞、優良賞を受賞いたしました。この受賞を糧として、日々のお客様への接客向上に活かしてまいります。



競技会も無事終了して、みんな笑顔の集合写真です。

外国人対応 Okay! のラッキー倶知安店



サービスカウンターで、外貨両替サービスや免税販売などの対応をしております。

ラッキー倶知安店のある倶知安町は、国際的に知名度の高いリゾート地「ニセコ」に隣接しているため、長期滞在中の海外(英語圏)からのお客様が非常に多いことが同店の特徴であります。そのため、ラッキー倶知安店独自のサービスとして、英語の話せるスタッフの他に「免税販売」、「外貨両替サービス」、「海外送金サービス」の導入、また「ラッキー倶知安店の英語版リーフレット」、「英訳の商品説明」を用意するなど、多くの外国人のお客様に利用していただけるよう対応しております。



ナチュラルな英語の商品説明。

■「シティマートくんねっぷ店」「ラッキーマート幌向店」の新規開店

当社では、平成27年7月に2店舗の新規出店を実施いたしました。1店舗目は、7月7日に道東の常呂郡訓子府町に「シティマートくんねっぷ店」をオープンいたしました。訓子府町は主に、メロン、玉ねぎ、馬鈴薯などの農業が基幹産業のまちであり、そのほぼ中心部に同店は位置します。2店舗目は、7月30日に空知地方の中心都市である岩見沢市の幌向地区に「ラッキーマート幌向店」を、「スーパーハルキ」様から店舗を引き継ぎ、新規出店いたしました。

この2店舗は、小商圏に対する店舗フォーマットとして、当社における新たなる試みであります。食品、衣料のコンビネーションタイプの品揃えによる地域ニーズへの対応とローコストオペレーションをコンセプトに、地域に末永く愛される店舗づくりを目指してまいります。



シティマートくんねっぷ店 開店前のお客様の行列です。



ラッキーマート幌向店 開店前のお客様の行列です。

■「ラッキー長沼店」の改装



見る角度で二通りの内容が楽しめます。

平成27年10月に夕張郡長沼町の「ラッキー長沼店」の改装を行いました。今回の改装では、照明は全てLED化、また店内装飾・店舗内デザインを一新して、明るく清潔感溢れるお店に生まれ変わりました。新規導入としては、まずは入口風除室に地元長沼の名産品を表現したオブジェを設置、酒類売場には「どぶろく特区」に認められた長沼町の阪農場様の「どぶろく」と日本一小さなワイナリーとして有名な「マオイワイナリー」のワインなど、長沼町ならではの商品が品揃えされています。

北雄ラッキーは「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地球温暖化防止(二酸化炭素の削減)をはじめとする環境問題に積極的に取り組み、従業員一人ひとりが身近に出来ることから、着実に実践し積み重ねることで、地域のスーパーマーケットとして、地球や人にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

■ 店舗巡回用車輦にPHEVを導入

当社では、2014年度に道内17店舗へ電気自動車用の急速充電器を設置し、2015年度は店舗巡回等に使用する社有車にPHEV車(プラグインハイブリッド車)2台を導入いたしました。PHEV車とは、短距離走行時は充電した電気を利用してモーターの力で走り、長距離走行時はガソリンエンジンで発電しながら走行する電気自動車です。店舗巡回の際は、店舗設置の急速充電器を利用することで、ガソリン消費を抑制し、排出ガス、燃料代を削減することで、環境面・コスト面でも効果を発揮しております。



電気自動車用の急速充電器です。



社有車に導入した2台のPHEV車(プラグインハイブリッド車)です。

■ 電力代理購入サービスを利用して新電力を購入



各店舗の電力使用状況を「スマートメーター」で確認しています。

当社では、平成27年5月より道内23店舗において、電力代理購入サービスを利用した新電力の受電を開始いたしました。電力代理購入サービスとは、特定規模電力事業者等が大手電力会社や新電力会社から仕入れた電力を契約企業に供給するものです。従来の契約と比較すると、基本料金単価、従量料金単価の低下によるコスト削減とともに、太陽光発電やバイオマス発電などの新電力の活用により、CO2の排出量は従来の約1/3に削減されました。なお、受電中の電力は「スマートメーター」によってリアルタイムで確認し、適時、電力使用の抑制に努めております。

当期の概況

●営業の状況

当事業年度におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済・金融政策を背景とした企業収益や雇用環境の改善が進み、多少の停滞感はあるものの緩やかな回復基調となりましたが、中国経済の減速をはじめとする海外経済の下振れ懸念が拡大するなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

スーパーマーケット業界におきましては、緩慢な景気回復による家計消費支出の伸び悩み、人口減少や少子高齢化の進行による市場縮小への対応、低価格志向が続くなかでの異業種を含めた企業間競争及び労働需給の逼迫等による人件費の上昇など、大変厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社におきましては、一貫して「おいしいものを食べたい、豊かな食生活を楽しみたい」というお客様の期待にお応えするべく、「豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケット」の構築に努めてまいりました。そして、当社のようなローカルスーパーマーケットがお客様の支持を得るための最重要事項は「商品」であるとの方針のもと、北海道No.1の商品力の確立に努めてまいりました。

その商品政策の面では、お客様の食生活の基盤を支えるコモディティ商品を量販する力を備えること、安全安心で鮮度の良い商品であること、そしてラッキーらしさを表現する健康に特化した「ナチュラルラッキー」・おいしさに特化した「テイスティラッキー」・地域需要に対応する商品をさらに充実させるこ

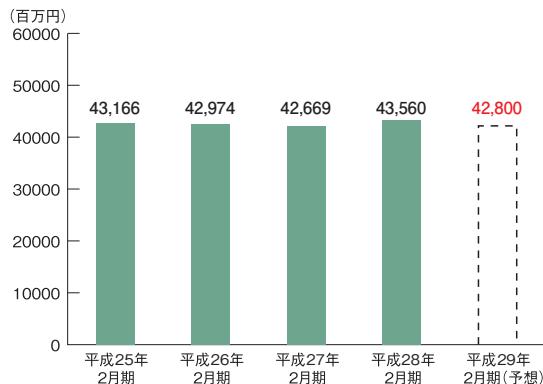
と、以上の3つの商品力を極めることで、お客様にとって価値のある専門性の高い売場の構築を目指してまいりました。

店舗運営政策においては、現場主導によって地域事情を最優先した売場づくりを本部が積極的にサポートすることで、現場力の強化に取組み、地域密着型売場の構築に努めてまいりました。また、店舗運営におけるもう一つの重要な柱である「ローコスト経営の徹底」といたしましては、部門マネジメントの強化による作業改善及び集中品出し・マルチジョブの推進継続によって生産性の改善に努めてまいりました。

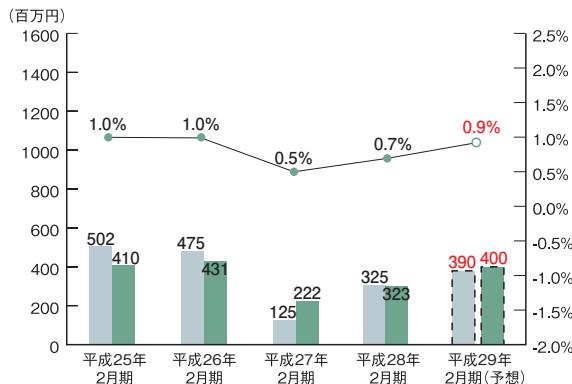
経費面におきましては、電気料金の値上げによる影響が懸念されましたが、LED照明、省エネ機器の導入、デマンド監視装置の活用による使用電力の適正管理、23事業所における供給電力の「新電力」への切替え及び原油価格の下落による重油・灯油の燃料費削減などもあり、水道光熱費の増加は想定を大幅に下回る結果となりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は435億60百万円（前年同期比102.1%）、営業利益は3億25百万円（同258.5%）、経常利益は3億23百万円（同145.3%）、当期純利益は1億50百万円（同188.6%）となりました。

■ 売上高の推移と予想（25年2月期～28年2月期実績と29年2月期予想）



■ 営業利益の推移と予想（25年2月期～28年2月期実績と29年2月期予想）



■ 経常利益の推移と予想（25年2月期～28年2月期実績と29年2月期予想）

● 売上高対経常利益率

●次期の見通し

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、企業収益の向上、雇用や所得環境の改善を背景に、緩やかな回復が見込まれるものの、消費マインドに弱さがみられ個人消費の力強い回復には、ある程度時間を要するものと思われまます。また一方では、米国金融政策正常化の影響や中国など新興国経済の先行き懸念など世界経済の不透明感が強まるなか、依然として国内景気の停滞感は続くものと予想されます。

スーパーマーケット業界におきましては、流通業界の再編・淘汰の加速、異業種間競争の激化、成熟し縮小する市場変化への対応、人材確保の問題及び個人消費回復の遅滞などの課題が山積し、企業の生き残りをかけた厳しい経営環境が続くものと思われまます。

こうしたなか、当社におきましては、お客様の支持を得るための最重要事項は「商品」であるとの方針のもと、北海道No1の商品力の確立を目指してまいります。

商品政策の面では、適切なマーケティングに基づきお客様の購買志向の変化を捉えて、お客様が求める商品、サービス及び情報を提供することが、当社の「商品力」の強化に繋がるものと考え取組んでまいります。具体的には、ラッキーらしさを表現するナチュラルラッキー商品・テイスティラッキー商品及び地域需要に対応する商品等を柱とする、重点商品カテゴリーの構築を重要施策としてまいります。

販売政策の面では、現場主導の確立を目指し、店舗におけ

る店長を主役とする「現場力」の強化に取組んでまいります。「本部は店の為にある」との原理原則に基づき、本部が店長の決断を後押しすることによって、現場で考える力、現場で行動する力を育成し、お客様の様々なニーズに対する迅速かつ適切な対応の実現を図ってまいります。

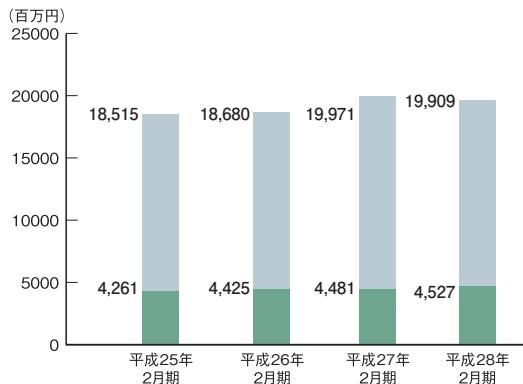
また、新たな顧客開拓の施策としては、チラシやCMなどの既存の広告媒体だけではなく、インターネット活用により、SNSなどでの「情報拡散」を目的とした情報発信を新たな手段として、20～30代の次世代ユーザー取込みを目指してまいります。

翌事業年度は、平成28年4月に、小商圈店舗フォーマットとして3店舗目となる「シティマート女満別店」を網走郡大空町に新規開店しております。また主要な改装店舗といたしましては、同年6月に「シティ網走店」の改装を予定しております。

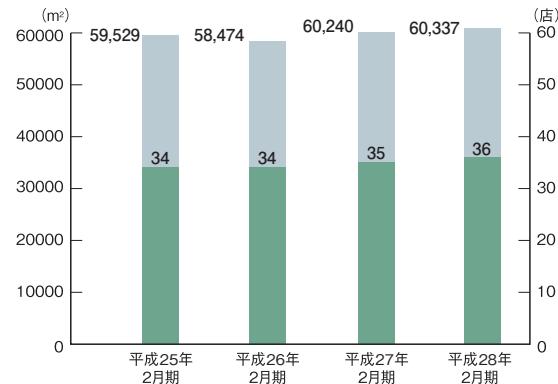
当社はこうした数ある課題を着実に実施していくことにより、厳しい経営環境にあるなか、競争力のある企業、お客様から愛される企業の構築に向けて取組んでまいりる所存であります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績予想につきましては、売上高は428億円(当事業年度比98.3%)、営業利益は3億90百万円(同119.9%)、経常利益は4億円(同123.6%)、当期純利益は1億72百万円(同114.4%)と見込んでおります。

■ 総資産の推移 (25年2月期～28年2月期実績 4期分)
■ 純資産の推移 (25年2月期～28年2月期実績 4期分)



■ 期中平均売場面積の推移
■ 期末店舗数の推移



財務諸表

●貸借対照表

単位:千円

科目	前期	当期
	平成27年2月28日 現在	平成28年2月29日 現在
〈資産の部〉		
流動資産	4,731,504	4,732,466
現金及び預金	1,780,393	1,764,800
売掛金	293,405	371,203
商品及び製品	1,887,712	1,869,933
原材料及び貯蔵品	79,121	78,510
前払費用	122,583	117,870
繰延税金資産	48,060	55,104
未収入金	434,476	433,811
その他	86,291	41,966
貸倒引当金	△540	△734
固定資産	15,219,647	15,162,759
有形固定資産	12,081,533	12,200,214
建物	3,753,408	3,854,384
構築物	156,285	179,958
機械及び装置	390	312
車輛運搬具	69	291
工具、器具及び備品	133,975	113,128
土地	7,258,410	7,258,410
リース資産	775,082	793,728
建設仮勘定	3,911	—
無形固定資産	34,511	39,658
ソフトウェア	16,282	21,429
電話加入権	18,228	18,228
投資その他の資産	3,103,602	2,922,886
投資有価証券	257,200	204,147
繰延税金資産	454,636	410,648
差入保証金	2,216,453	2,135,676
その他	175,311	172,413
繰延資産	20,781	13,784
社債発行費	20,781	13,784
資産合計	19,971,933	19,909,011

単位:千円

科目	前期	当期
	平成27年2月28日 現在	平成28年2月29日 現在
〈負債の部〉		
流動負債	9,690,246	10,445,251
買掛金	3,292,584	2,958,801
1年内償還予定の社債	260,000	560,000
短期借入金	3,650,000	4,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,225,352	1,387,316
リース債務	277,177	300,924
未払金	379,422	336,944
未払費用	269,201	286,193
未払法人税等	15,386	112,174
未払消費税等	181,793	152,996
前受金	17,633	19,244
預り金	33,624	42,098
賞与引当金	88,071	88,558
固定負債	5,800,414	4,936,569
社債	1,220,000	660,000
長期借入金	2,437,827	2,155,044
リース債務	568,188	561,687
退職給付引当金	942,482	915,965
役員退職慰労引当金	249,518	258,575
長期預り保証金	332,674	333,767
資産除去債務	46,615	47,314
その他	3,108	4,215
負債合計	15,490,660	15,381,820
〈純資産の部〉		
株主資本	4,415,571	4,502,156
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	351,215	351,215
利益剰余金	3,423,015	3,510,195
自己株式	△467	△1,062
評価・換算差額等	65,701	25,034
その他有価証券評価差額金	65,701	25,034
純資産合計	4,481,272	4,527,190
負債純資産合計	19,971,933	19,909,011

● 損益計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	平成26年3月1日～平成27年2月28日	平成27年3月1日～平成28年2月29日
売上高	42,669,204	43,560,907
売上原価	31,960,142	32,644,290
売上総利益	10,709,062	10,916,616
営業収入	1,040,513	1,053,316
営業総利益	11,749,575	11,969,932
販売費及び一般管理費	11,623,793	11,644,726
営業利益	125,782	325,206
営業外収益	221,472	102,357
営業外費用	124,478	103,972
経常利益	222,775	323,591
特別利益	25,564	2,533
特別損失	71,407	10,637
税引前当期純利益	176,932	315,487
法人税、住民税及び事業税	50,671	118,815
法人税等調整額	46,523	46,269
当期純利益	79,737	150,402

● 剰余金処分

期末配当に関する事項

- (1) 配当財産の種類 金銭といたします。
 (2) 配当財産の割当に関する事項及びその総額
 普通株式 1株につき金10円 配当総額 63,212,250円
 (3) 剰余金の配当が効力を生じる日 平成28年5月27日

(参考)

1. 当期における配当性向 42.0%	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
2. 1株当たり配当金の推移(期末時)	10.0円	10.0円	10.0円	10.0円	10.0円

● キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	当期
	平成27年3月1日～平成28年2月29日
営業活動によるキャッシュ・フロー	547,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	△418,803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194,450
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△65,592
現金及び現金同等物の期首残高	600,393
現金及び現金同等物の期末残高	534,800

● 株主資本等変動計算書

当期(自 平成27年3月1日 至 平成28年2月29日)

単位:千円

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	其他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	其他資本剰余金	資本剰余金合計	其他利益剰余金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
平成27年3月1日残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	958,015	3,423,015	△467	4,415,571	65,701	65,701	4,481,272
当期変動額												
剰余金の配当						△63,222	△63,222		△63,222			△63,222
当期純利益						150,402	150,402		150,402			150,402
自己株式の取得								△595	△595			△595
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										△40,666	△40,666	△40,666
当期変動額合計	—	—	—	—	—	87,179	87,179	△595	86,584	△40,666	△40,666	45,918
平成28年2月29日残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	1,045,195	3,510,195	△1,062	4,502,156	25,034	25,034	4,527,190

売上・設備の状況

●商品別売上高の推移と直近構成比の状況

○売上高の概要

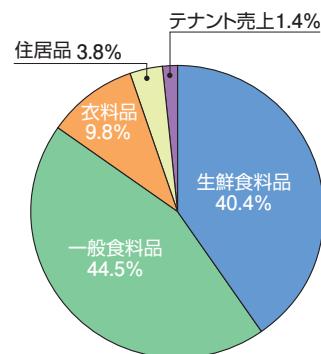
当事業年度の売上高は、前事業年度と比較し2.1%増の435億60百万円となりました。これは、4月以降の野菜・精肉の相場高が続いたこと、焼肉・行楽用品などの夏型商品が好調であったことに加えて、前事業年度に新設・建替えた俱知安店及び山の手店が好調に推移したなどの要因によるものであり、既存店売上高も前年同期比100.7%となりました。部門別としては、節約志向の影響を強く受けた衣料部門は苦戦いたしました、野菜・精肉などが好調であった生鮮部門は前年同期比105.4%と大きく伸長いたしました。

商品別売上高

単位：百万円

	26年2月期	27年2月期		28年2月期		29年2月期(予想)	
			前期比(%)		前期比(%)		前期比(%)
スーパーマーケット事業部門	42,965	42,660	99.3	43,560	102.1	42,800	98.3
生鮮食料品	16,557	16,710	100.9	17,619	105.4	17,450	99.0
一般食料品	19,285	19,104	99.1	19,400	101.5	19,070	98.3
衣料品	4,701	4,548	96.7	4,259	93.6	4,058	95.3
住居品	1,727	1,663	96.3	1,668	100.3	1,636	98.0
テナント売上	695	633	91.1	613	96.8	586	95.6
その他の事業部門	8	8	99.3	—	—	—	—
合計	42,974	42,669	99.3	43,560	102.1	42,800	98.3

28年2月期 売上構成比



●設備投資等の概要

当事業年度は、平成27年7月7日に「シティマート調子府店」、同年7月30日に「ラッキーマート幌向店」を新規開店しており、既存店舗の改装としては、同年10月に「ラッキー長沼店」の改装を実施しております。なお、平成27年8月23日付で「衣料館大曲店」を閉店いたしました。当事業年度の設備投資の総額は、782,487千円であります。

設備投資の推移

単位：百万円

	26年2月期	27年2月期		28年2月期		29年2月期(予想)	
			前期比(%)		前期比(%)		前期比(%)
投資金額合計	842	1,501	178.3	782	52.1	470	60.1
新店投資	200	416	207.9	494	118.6	20	4.2
既存店改装投資	384	754	196.3	65	8.6	65	100.4
その他	257	330	128.4	223	67.6	383	172.0
減価償却費	295	300	101.9	349	116.1	354	101.5
リース償却費	234	284	121.2	288	101.3	294	102.0

注 本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

●店舗の状況

(1) 開店・閉店店舗数と期末平均売場面積

	23年2月期	24年2月期	25年2月期	26年2月期	27年2月期	28年2月期
開店						
店舗数	1	1	1	0	2	2
平均売場面積(㎡)	1,190	711	716	0	2,942	1,865
閉店						
店舗数	0	0	1	0	1	1
平均売場面積(㎡)	0	0	1,190	0	1,758	715
全店						
店舗数	33	34	34	34	35	36
期末売場面積(㎡)	59,588	59,995	59,224	58,340	59,521	60,617
期中平均売場面積(㎡)	59,360	59,420	59,529	58,474	60,240	60,337

(注)23年2月期から25年2月期まで、TSUTAYA篠路店が店舗として加わっております。

(2) タイプ別店舗数と期末売場面積

	23年2月期	24年2月期	25年2月期	26年2月期	27年2月期	28年2月期
衣料品単独店						
店舗数	7	8	9	9	10	9
期末売場面積(㎡)	5,106	5,817	6,534	6,534	7,028	6,313
食料品単独店						
店舗数	4	4	4	4	4	5
期末売場面積(㎡)	4,179	4,076	4,077	4,077	4,189	5,115
食品・衣料共同店						
店舗数	21	21	21	21	21	22
期末売場面積(㎡)	49,113	48,912	48,613	47,728	48,304	49,189
その他事業(FC店)						
店舗数	1	1	—	—	—	—
期末売場面積(㎡)	1,190	1,190	—	—	—	—

(注)平成24年8月31日付でTSUTAYA篠路店は、FC契約期間満了に伴い閉店しております。

会社概要

設立 1982(昭和57)年5月10日
 本社 〒006-0851
 札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号
 資本金 6億4180万円
 代表者 代表取締役社長 桐生 宇優
 従業員数 正社員 500名
 パートタイマー 1,545名
 (1人8時間換算 月平均)
 平成28年2月末日現在
 営業品目 生鮮食料品・加工食品・菓子・衣料品・
 日用雑貨・米・酒

役員 代表取締役会長 川端 敏
 代表取締役社長 桐生 宇優
 取締役 常務執行役員 山本 光治 (営業本部長)
 取締役 執行役員 山川 浩文 (管理本部長)
 取締役 執行役員 千葉 敬一 (内部監査室長)
 取締役 執行役員 堀田 史朗 (業務推進室長)
 取締役 執行役員 鶴澤 賢治 (経理部長)
 取締役 吉田 周史 (社外取締役)
 常勤 監査役 田井中 廣治
 監査役 堀 勝彦
 監査役 宮脇 憲二 (社外監査役)
 監査役 伊藤 光男 (社外監査役)
 執行役員 大橋 洋 (開発部長)
 執行役員 猿渡 浩一 (総務部長)

沿革

昭和46年04月 食品の小売及び卸売を目的として、札幌市手稲西野(現 西区西野)に資本金6,000千円にて、株式会社オレンジチェーンを設立。
 48年04月 本社を札幌市西区山の手1条7丁目に移転。
 49年05月 商号を株式会社山の手ストアーに変更し、本格的にスーパーマーケットのチェーン展開を開始。
 同月、山の手店をはじめ、5店舗の営業を開始。
 50年10月 札幌市東区に北49条店を開店。
 51年10月 札幌市豊平区(現 清田区)に清田店を開店。
 52年12月 札幌市北区に篠路店を開店。同時にEOS(補充発注システム)を導入。
 57年05月 株式会社まるせんととの合併と同時に、北雄ラッキー株式会社に商号変更。同時に、本社を札幌市中央区大通西23丁目291-1に移転。
 59年06月 本社を札幌市中央区宮の森3条1丁目1-25に移転。
 63年07月 小樽市新光町にラッキー朝里店を開店。小樽へ進出。
 平成元年07月 本社を札幌市中央区北11条西19丁目36-35に移転。
 同月、札幌市南区に川沿店を開店。
 2年03月 POS(販売時点情報管理)システムを導入。
 3年10月 石狩町(現 石狩市)花川にラッキー花川南店を開店。
 5年09月 株式会社シティひろほろと合併し、シティひろほろ店を開店。道東地区へ進出。
 6年03月 千歳市錦町にラッキー千歳錦町店を開店。千歳市へ進出。
 6年04月 紋別郡遠軽町にシティえんがる店を開店。道東地区2店舗となる。
 7年05月 札幌市豊平区(現 清田区)にラッキー美しが丘店を開店。
 8年03月 本格的にインスタペーパーカーを手がけ、以後各店へ導入。
 10年03月 夕張郡栗山町にラッキー栗山店を開店。
 12年03月 網走市駒場にシティあばしり店を開店。道東地区3店舗となる。同月、食品の安全性検査のため独自の商品検査室を設置。

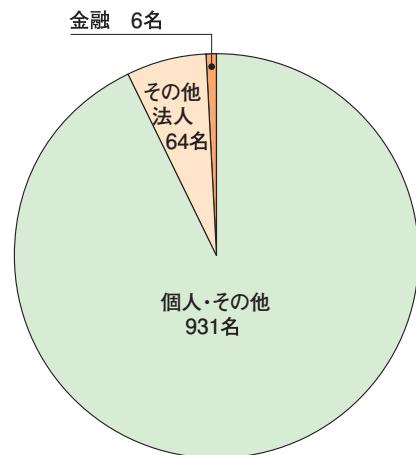
13年03月 札幌市北区にラッキー新琴似四番通店を開店。
 14年03月 中川郡暮別町に衣料館礼内店を開店。
 同月、安全衛生管理室を設置。
 14年04月 札幌市手稲区にラッキー星置駅前店を開店。
 14年10月 日本証券業協会に株式を店頭登録。(現在は東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場)
 15年04月 夕張郡長沼町にラッキー長沼店を開店。
 16年05月 精肉・鮮魚商品を店舗へ供給する生鮮センターを稼働。
 16年06月 紋別市渚滑にシティもんべつ店を開店。
 道東地区4店舗となる。
 17年10月 稚内市新光町にシティ稚内店を開店。道北地区へ進出。
 18年03月 札幌市中央区に低温物流センターを取得。
 19年07月 小樽市手宮に衣料館手宮店を開店。
 20年09月 岩内郡岩内町にラッキー岩内店を開店。
 21年06月 千歳市勇舞に衣料館長都店を開店。
 23年11月 函館市人見町に衣料館ひとみ店を開店。
 24年09月 函館市美原に衣料館美原店を開店。
 25年06月 本社を札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号に移転。(ラッキー星置駅前店に併設)
 26年03月 虻田郡倶知安町にラッキー倶知安店を開店。
 26年10月 函館市桔梗に衣料館桔梗店を開店。
 27年07月 常呂郡訓子府町に「シティマートくんねっぷ店」を開店。
 27年07月 岩見沢市幌向に「ラッキーマート幌向店」を開店。

株式の状況 (平成28年2月29日現在) 東証JASDAQ(スタンダード):2747

発行済株式の総数 **6,323,201株**

期末株主総数 **1,001名** (前期比73名増)

●所有者別株主数

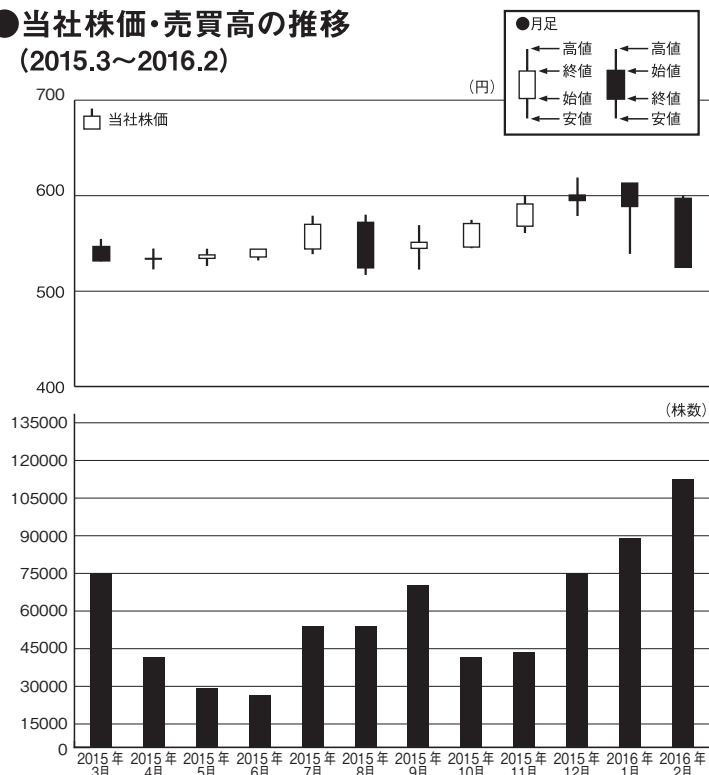


●大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
桐生泰夫	776,400	12.78
千葉敬一	350,000	5.53
株式会社 北洋銀行	310,000	4.90
田中寛密	300,000	4.74
堀勝彦	240,000	3.79
有限会社 まるせん商事	179,000	2.83
桐生宇優	157,500	2.49
株式会社 北海道銀行	150,000	2.37
千葉サカエ	148,000	2.34
桐生美智子	143,000	2.26

(注) 出資比率は自己株式(1,976株)を控除して計算しております。

●当社株価・売買高の推移 (2015.3~2016.2)



株主メモ

決算期日	2月末日
株主総会 基準日	毎年5月 2月末日
配当金受領株主確定日	剰余金の配当2月末日 中間配当を行う場合は8月31日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告掲載方法	電子公告により行います。
株主優待制度	株主優待制度として、毎年2月末日現在の1,000株以上を保有する株主に対し、年1回JCBギフトカード(5,000円分)もしくは「北海道特産品」を贈呈いたします。

LUCKY

2016.2 第46期 報告書

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんので ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別 口座の場合」の郵便物送付先・電話お 問い合わせ先・各種手続お取扱店を ご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以 外の株式売買はできません。証券会社等に口 座を開設し、株式の振替手続を行っていただ く必要があります。

本報告書で記述されている当社の現在の計画、戦略、業績予想並びに将来予測などは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しの上に全面的に依拠することは避けていただきますようお願い致します。

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。